

1

一 次の1から3までの文の——部の漢字の読みを、ひらがなでていねいに書きましよう。

- 1 険しい山道を歩く。
- 2 めずらしい植物を採集する。
- 3 本の整理の仕事を任せる。

二 次の1から3までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 勝利をいわう。
- 2 バスがでいしやした。
- 3 駅まで歩いておうふくする。

2 次の1、2の言葉を、(例)のように、ローマ字でていねいに書きましよう。

(例) [いぬ]



inu

1 [どんぐり]



2 [きって]



3 次は、読書について書かれた新聞の【コラム】(筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事)です。この【コラム】は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましよう。

【コラム】 記事の中の▶は、まとまりを表す印です。

1▶四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれる。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2▶ある作者の言葉に、「一冊の本との出合いが、前に進む勇気につながる」というものがある。出合いはぐうぜんでも、生きる力を与え、目の前の壁を乗り越えさせてくれる本の存在はとても大きいものだ。3▶先日、中学時代に繰り返し読んでいた本を読み返した。やはり、何度読

んでも心に響いた。そして、読んだ後は、「何事もあきらめないぞ。」という思いがわいてきた。4▶最近、読書離れが問題になっているが、ぜひ読書の楽しみを子ども時代に味わわせたい。読書によって人生を豊かにしてほしい。5▶世界の人々が本について考える日。この日は、みんなが本を手にとって、そこにえがかれる世界にひたってみてはどうだろうか。



一 筆者は、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているましまりを、【コラム】の中の1か5までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠^{こうぎ}付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最もふさわしい言葉の**はじめの五文字**を書きぬきましょう。ただし、句点(。)や読点(、) 、かぎ(「 」)は字数にふくみません。

4 漢字辞典で次の漢字を調べようと思いますが、読み方も部首も分かりません。効率よく調べるための方法として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

称

- 1 部首さくいんのページを見て、「称」の漢字^{あひ}を探す。
- 2 初めのページから、順にめくって「称」の漢字を探す。
- 3 音訓さくいんのページを見て、「ア・あ」から順に「称」の漢字を探す。
- 4 総画さくいんのページを見て、十画の漢字の中から「称」の漢字を探す。

5 次は、代表委員会に出された【美化委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【青木さんの心の中の声】です。青木さんの聞き方について説明した文として最もふさわしいものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

【美化委員会からの提案の一部】

最近、校内のよここれが気になります。みなさんは、そうじに一生けん命取り組んでいますか。中には、おしゃべりばかりしている人や取りかかりがおそい人もいます。

そこで美化委員会から、来月の全校美化週間において取り組むことを、次のように提案します。

それは、「さ・し・す・せ・そ」を合い言葉に取り組むことです。

さ …さつと取りかかり

し …しずかに

す …すみずみまで

せ …せいっぱい

そ …そうじをしよう

これらを合い言葉に、みんなが力を合わせ、きれいな学校にしていきましょう。

～ (提案が続く。) ～

【青木さんの心の中の声】

低学年にも分かりやすいな。これなら、そうじのときの合い言葉として、おたがいに声をかけ合うことになるだろうから、きっと効果があるなあ。



- ア 自分が予想したとおりがどうかを確かめながら聞いている。
- イ どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。
- ウ 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。
- エ 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。

6 青山さんは、サクラについて百科事典で調べて分かったことをノートにまとめました。

【ノートの一部】の中の **ア**、**イ** に入るふさわしい言葉を【百科事典の記述の一部】の中から、それぞれ **ア** は三文字、**イ** は二文字で書きぬきましょう。

サクラ 【桜】

サクラは、古くから日本人々に親しまれていてる。例えば、サクラの花を見て楽しみ、春の訪れを感じる行事として花見が広く行われている。また、短歌や俳句などの題材としても取り上げられている。

また、サクラは、日常生活の中でも使われている。サクラの葉や花は塩づけにすると、食品として活用できる。塩づけにしたサクラの葉でもちをくるんだものは、桜もちと呼ばれる。そして、塩づけにしたサクラの花を湯に入れて桜湯は、おめでたい出来事があったときなどに飲まれている。また、サクラの樹皮は、皿や茶づつなどの工芸品として使われている。 ～(内容が続く。)～

【ノートの一部】

サクラ 〈桜〉

《 親しまれ方 》

○ 花見をしたり、短歌や俳句の題材として取り上げられたりしている。

《 **ア** 方 》

○ サクラの葉と花を塩づけにする。(**イ**)

→ 葉…桜もち、花…桜湯

○ サクラの樹皮で、皿や茶づつなどを作る。(工芸品)

7 次は、竹内さんが、自動車工場で見学したことをもとに、分かったことや考えたことを説明した内容の一部です。竹内さんは、説明をどのようにくふうしていますか。最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【説明した内容の一部】

わたしは、自動車工場で見学したことの中から、自動車ができるまでの流れについて、分かったことや考えたことを説明します。最初に、自動車ができるまでの流れを、「プレス」、「ようせつ」、「とそう」、「組み立て」、「検査」という五つの段階に分け、分かったことを順番に話していきます。そのあと、自分が考えたことをまとめて述べます。

まず、「プレス」という段階について話します。

～(説明が続く。)～

- 1 聞き手に問いかけながら説明している。
- 2 見学に行った理由を最初に説明している。
- 3 話の全体構成を伝えてから説明している。
- 4 工場で見学したことを全部説明している。

8 次は、漢字に興味をもった田中さんが読んだ二つの資料です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料①】

漢字はその成り立ちから、象形文字・指示文字・会意文字・形声文字の四つに分けられます。象形文字は、山の形をかたどって作られた「山」のように、物の形をかたどって表した漢字です。指示文字は、「上」など形に表しにくい事柄を点や線などの印や図形で表した漢字です。会意文字は、木がいつばいある場所を表す「林」や「森」など、二つ以上の漢字を組み合わせて別の新しい意味を表す漢字です。そして、形声文字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせて新しい意味を表す漢字です。

例えば、「銅」、「胴」、「洞」という漢字は、「同」と「金」、「月」、「宀」が組み合わさってできており、いずれも「どう」と読むことができます。そして、「金」は「おかね」、「月」は「からだ」、「宀」は「みず」を表します。つまり、これらの漢字は、()に当たります。

ところで、日本語には、魚の名前を表す漢字がたくさんあります。「鯛」、「秋刀魚」、「鯉」、「鮪」、「鯖」は、「たい」、「さんま」、「かつお」、「まぐろ」、「さば」と読みます。それぞれの漢字の由来を調べてみると、その魚の性質や形・見た目など、いくつかに分類できます。
 (文章が続く。)

【資料②】

昔、旅人が疲れをいやし一休みするところには、のどのかわきをうるおす水がわき出る泉がありました。泉の意味である「地中からわき出る水」があるところの地名には「泉」「清」などきれいな水を表す漢字が使われています。地名に限らず、様々なものの名前には、その様子や人々の生活にかかわりがある漢字が使われています。

四季の移り変わりによる、色とりどりの姿を見せる日本の自然。自然の変化の美しさを感じ取り表現する感性や、自然と生活とのかかわりの中でわずかなちがいを表現し、生活に生かす知恵は、日本ならではのものであり、すばらしい財産でもあります。
 (文章が続く。)

一 【資料①】の中の()に入る言葉として最もふさわしいものを、次のアからエまでのの中から一つ選び、その記号を書きましょう。

ア 象形文字 イ 指示文字 ウ 会意文字 エ 形声文字

二 次は、【資料①】の中の——線部について、田中さんがまとめた表です。この表の中に、「ほかの魚よりも傷みやすい」と言われる「鰯」を加えようと思います。「鰯」が入る分類として最もふさわしいものを、アからエまでのの中から一つ選び、その記号を書きましょう。

《魚を表す漢字の由来(一例)》

分類	漢字	説明
ア 性質	鮪	・「有」には、外側を囲むという意味があり、広い範囲を囲むように泳ぐから。(ほかにも、鮪がほかの魚よりも大きく、存在感が「有る」からなど、諸説がある。)
イ 形・見た目	秋刀魚 鯖	・秋刀魚の細長い形が「刀」にそっくりだから。 ・鯖は、背中に青黒いしまもようがあるから。
ウ 生息状況	鯛	・鯛は、日本の周囲の海、どこにでもいるから。
エ 加工状況	鰹	・「堅」は、かたいという漢字。鰹を加工して作るかつお節がかたいから。

三 田中さんは、【資料①】と【資料②】を読んで考えたことを、次のようにノートにまとめました。()に入る言葉としてふさわしいものを【資料②】から二十字で書きぬきましょう。ただし、句点(。)や読点(、)も字数にふくみます。

周りを海に囲まれた日本では、魚は日本人の生活にとってかかわりが深いものだった。そこで、日本人は、()を使って、たくさんの魚の名前を表す漢字を使い分けるようになったのだと思う。

これで問題は終わりです。